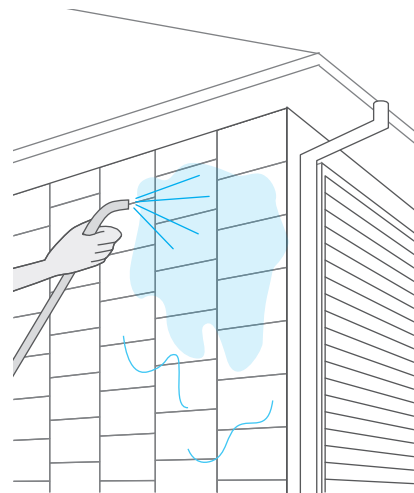


外壁・屋根・雨樋のお手入れ

雨、風、日光から住まいを守ってくれる外壁は、なかなかお手入れが行き届かない箇所。

定期的な点検とお手入れを行いましょう。

外壁



外壁のお手入れ

外壁は、屋根とともに住まいを守る大切な部分です。年に1回程度は水洗いをしてきれいにしましょう。砂ぼこりなどの汚れは、ホースで水を上から下へゆるくかけて洗い流してください。落ちない場合は、柔らかいブラシで軽くこすります。軒天まわりには換気口がありますので、水が入らないよう直接水をかけないでください。

※高い所の作業は危険ですので、足場を充分確保し、しっかり支えてもらうなどの安全対策をしてください。

※モルタル、リシン仕上げの壁は、高圧による洗浄や強い力でのブラシがけをすると表面のリシンがはがれることがあります。

外壁の補修

ひび割れができた場合は雨水が浸入する恐れがありますので市販の外壁用防水シール剤を埋め込み、乾燥させてから、外壁用塗料で塗装します。

外壁は長い間に汚れがついたり、色あせしたりし、表面の防水性も低下してきます。頃合いを見て塗り替えや吹きつけなどしてください。

周囲に林があるなど、比較的風通しが悪かったり湿度の高い地域では、建物の北面など雨水が残りやすい場所や、日光が当たりにくい場所に、緑色のカビ状のものが発生することがあります。これはクロレラという藻類で、樹木やコンクリート壁の北面などにも発生する自然現象です。散水しながらブラシなどでこすって落としてください。落ちにくい場合は住宅用洗剤を吹きつけ、その後水洗いしてください。

基礎

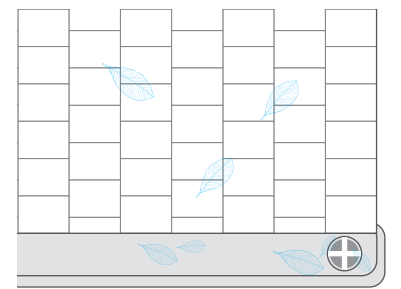
コンクリートの性質上、基礎コンクリートの表面上に小さなひび割れが発生することがありますが、強度上の問題はありません。

汚れを見つけたら、水をかけ落としてください。換気口には水が入らないようご注意ください。

床下に水が溜まっていないか、時々床下点検口から中を点検しましょう。

屋根・雨樋

屋根・フラットルーフ・雨樋などは、建物にとって大変大切な部分であり、厳しい自然環境にさらされているところでもあります。年に1～2回は、落ち葉などのゴミが溜まっていないか、キズや破損がないかを点検してください。特に台風の通過後は必ず点検するようにし、ゴミは取り除いてください。ゴミを放置しておくと水が溜まり、屋根材の剥がれやサビ・雨漏りの原因になります。



屋根・雨樋のお手入れ

屋根瓦は、変色・退色しにくい材質ですが経年劣化により補修が必要となる場合があります。その際は専門会社にご相談ください。

屋根材そのものよりも固定している針金や水切り鉄板がサビたり、腐食したりすることがありますので、鉄板部分の塗装も行ってください。

塗装仕上部分の表面が白っぽくなったり、色があせてきたら塗り替えが必要です。また、庇などの天板の継ぎ目(切り口)部分はサビが発生しやすいので、塗装の必要があります。

鉄板部分にキズなどを見つけた場合は、補修用塗装を塗ってください。

屋根の庇まわりなどに鳥が巣を作った場合、取り壊しても鳥は同じ場所に何度も作る習慣がありますので、根本的な解決にはなりません。金網で隙間を塞いだり、市販の薬剤を使うなどして新たな巣作りを防いでください。

※高い所や屋根での点検・補修などの作業は転落の恐れがありますので、専門会社へのご依頼をおすすめします。

雨樋の補修

軒樋から水が溢れる場合は、ゴミや落ち葉などが溜まっていることが考えられます。小さめのほうきなどで掃いてからゴミを取り除いてください。

プラスチックの雨樋はサビの心配はありませんが、ひび割れが生じることがあります。割れたり、折れたりした場合、防水テープを巻いて補修してください。テープだけでは補修できない場合は、専門会社にご依頼ください。